

# かさおか

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314



「海鈴」篆刻（波頭にキラキラと光が輝く）

初代の心にかえり信仰の喜びを

深めよう 伝えよう 広げよう

- 一、持ち場立場で日々理作り
- 一、家族揃って教会参拝
- 一、一日一件にをいがけ

立教174年  
8月号

# 温故知新

## いきいきエピソード 6

### いんねんを切る道は蔭の伏込一条

笠岡初代会長は舅姑を笠岡へ送る時、長女・光を同行させている。長男・鹿造は伊賀上野の川合家に預けている。後、鹿造は東の上原佐助に引き取られるのであるが、大阪での上原一家離散という事情から判断して、何故初代は長女でなく長男を笠岡へ連れて帰らなかったのかという疑問が湧く。主人・佐助への遠慮があったのかとも思う。或いは舅・佐吉の今後の上原家の治めへの深い思いがあったのか。今百三十年余の歴史の流れを眺めて、一家離散・家の断絶という誠に厳しいいんねんの姿の中、初代また二代会長夫人の蔭の伏せ込みに徹したたんのう一条の通り方に今の上原家の存在を見させて頂くように思う。

笠岡へ帰った初代は布教一筋に明け暮れる中、主人佐助が笠岡に残して行った笠原家の一粒種・笠原荒太氏を引き取って養育している。また明治二十四年教会設立と共に初代会長に就任するが、女性であるという事から副会長制をとった。長女・光に高知から養子を迎えたが、

副会長が次期会長という思いの一部信者から養嗣子・伊助は一時排斥され、夫婦で高知に滞在したり、また笠岡を離れ四国香川県に単独布教に向いたりした。初代の心の奥底に上原家のいんねんの姿が再び澎湃として湧き起こってきたと思われる。

以下に記すのは、こうした事情を身をもって通った初代、二代会長夫人から仕込まれた三代会長夫人の話である。

「これは母の事で御座いますが、母は私にどういう事を言いましたかと申しますと、これはまたボンヤリと私に話してくれたのです。それは私は妹とたった二人ですから、しかも女ばかりですから、どうせ私が養子を貰って後をやらして貰わなきゃならんという気持があったから、やこそと思うのですが、その時に「くにゑさん、私が高知から今の二代会長を貰った時に、おばあちゃん(初代会長)がどう言ってくれたか分かるか」って言いますから、私は「分かりません」。そしたら母は私にとって祖母である初代会長が母に話した事を私に言って聞かしてくれました。「家の芯が立たない、教会に芯がないという事は、これくらい断絶いんねんで一番惨めなものはない。芯を戴いたんだから、もし二人の間でいざこざがあって都合の悪い事があったら、お前、芯は家を継ぎにきて戴き、教会を継ぎに来て戴いたんやから出されんのやで」と、

## 大教会本年心定め

- 初 席 者 数 279人(55人)
  - よ ふ ぼ く 数 217人(33人)
  - 修養科修了者数 135人(6人)
  - 教人登録者数 114人(0人)
  - 参考) 教人資格講習会 (1人)
  - 教会長資格検定講習会 (3人)
- (括弧内は1月1日～7月31日)

記念祭までに心定めを完遂するよう  
つとめさせて頂きましょう

こう言って聞かしてくれました。私はその時はまだ若くて、ぼんやりと聞いていますから何か分からなかったんですけど、今度私がいよいよ養子を迎えさせて戴く立場になりました、今の老会長に教会の後継、また上原家の後継をして戴くようになったのです。その時私はアー本当にぼんやり聞いて申し訳なかったと思いました。上原家の創設者・上原佐吉には子供

が無く、佐吉さんの出処である笠岡の笠原家を後継していた儀七さん(佐吉の弟)の長男・佐助さんを養嗣子にして、後の笠岡初代になるさんとさんを嫁に迎えております。そうして佐助さんは東京へ、さんとさんは笠岡へと西と東に分かれわかれとなり、事情あってそれぞれの場所で大教会を設立しております事はよくご承知下さっていると思います。従って初代は親を連れ子を連れて一筋に布教に突き進んでおります。又母は今日の年祭を御覧下さいましたらお分かりのように、主人と一緒に過ごしましたのは、二十数年であります。早くに主人を亡くし、八十五歳で出直しております。だから私は私の願いとどうにか一人で結構ですから、私が理を立てきらせて戴いて芯を上原家の中から立てて戴きたい、それが私の願いでした。決して私の願いを全うさせて頂いたのではなくて、初代からの伏せ込んで頂いた理を頂戴して幸せな事に私の代で九人の男児を頂き、それぞれに健在で居らせて頂いております。これも私に母が言ってくれておりました、「芯を立てどんな事があっても芯は替えられん。都合の悪い事があたら、お前を上原家から出す」と言って初代が母に諭した事を母が私に話してくれまして私は成る程と思わせて頂いて今日まで通らせて頂いたのです。

もう一つ話させて頂きます。主人が台湾伝道

庁長の御命を戴いて台湾に出させて頂く事になりました。真柱様から家族を連れて行け、こういうお話でありました。戦時の事でもあり、考えますと中学生から小学校までおります六人もの子供全部を連れて参る訳にはいきません。まだその時は初代の祖母が存命でした。母はもう六〇歳を越えておりました。その時「お母さん、どうさせて頂いたらいいでしょうか」と申したら、母は暫く考えまして、「もう一度私は所帯を持たせて貰う。お前達二人はしっかり御用を、真柱様の御用の上に尽くして来い」と言ってくれました。それで初めての渡台の時には、子供を置いて出させて頂きました。けれども丁度出発の時、私達がお願いつとめを終えていよいよ出る時になって、母は食べた物を全部もどしてしまいました。私は、ア一申し訳ないなあ、心遣って頂いているのやなあと思いましたが、母が、「しっかり尽くして来い」と言葉を出してくれていますので、勇んで出させて頂きました。その赴任は五月で御座いましたが、その翌月の婦人会幹部の会合の時に、台湾全土の統一がとれておりませんでしたので、主事の方々にも話をさせて頂き、六月から全島の婦人会巡教を始めさせて頂きました。こうして台湾でのつとめを私なりに軌道に乗せる事が出来たのであります。もし子供達を連れて出ておりましたら、このような早い対応は出来なかったと思わせて

頂きます。「私は蔭の御用をつとめさせて頂くよってに、お前は二倍は表の仕事をしてくれ」と言ってくれた母のお陰と思っております。又小さい時分、私に琴、三味線、胡弓を習わせよとの母の思いでしたが、私は嫌で嫌でお琴を習いに行けと言われてもいかん、三味線を習いに行けといわれても行かんという時がありました。その時に、母がその月謝を払えん中から私に三曲を習わんようではならんからと町の三味線屋に通わせてくれて私の手をつけてくれました。そのお陰で今日、本部へ出させて頂き天理大学の伝道課程の御用もつとめさせて頂いていると思えますと、もう何にも言う事は御座いません。誠に母は蔭の人ではありませんが、力強い信念の持ち主であった事をしみじみと味わわせて頂いております。現在、本部託児所専任から新しく竣工したひのきしん寮の寮長という仕事をつとめさせて頂いておりますが、母の苦勞を思わせて頂くとの位の事は何でもないと思わせて頂いております」

初代会長、そして二代・三代会長夫人の一つに纏まった心の在り方が、笠岡大教会の今日の礎の中に伏せ込まれている事が如実に分かる講話である。女性の力、將に此処に在りと言うべきか！なお、この年祭の執行された前年、昭和四十五年四月十八日、三代会長は本部役員を拜命している。(笠岡史料部長)



# 弾ける笑顔が おぢばに参集

みんなきょうだい おやさとへーをテーマに立教174年こともおぢばがえり(教会本部主催)が7月26日から8月4日までおぢばで開催され、期間中、参加の子どもたちは「しこみ・ふせこみ行事」や「おたのしみ行事」を通してお互いのたすけ合いを学び、本部、詰所での楽しい一時を過ごし、終日、元気な子供たちの笑顔と歓声が響き渡った。

(大教会関係参加者数は次号掲載)

期間中、連日、真夏日が続くなか、参加の子どもたちを受け入れる詰所も各面で万全を期した。熱中症対策としてこまめに水分補給が出来る様、食堂横に常時、お茶が飲める冷茶器を2台設置。食堂入口には消毒液を用意、食事前に必ず使用し感染症対策など健康面を重点に取り組んだ。喫煙場所も決められた。ここ数年はバス利用の団体がほとんど。駐車場にいかによく、移動しやすくバスを止めるか工夫された。詰所ひのきしん者、バス乗務員らの協力もありトラブルもなくスムーズに進んだ。

また、詰所での行事もフライドポテト、輪投げ、かき氷、射的など趣向をこらした模擬店、詰所内に貼られたクイズ、1階ロビーでのビデオ上映など多彩に用意され参加者を楽しませた。期間中15人のひのきしん者が受け入れにあたった。

笠岡むつみ鼓笛本隊、同福山隊、同高屋隊、同島根隊も日頃の練習の成果を十分発揮、猛暑の中、鼓笛オンパレードにも参加、各隊とも堂々の演奏、行進を行った。

期間中、大過なく終え、参加者たちは来年の再会を誓い合い帰路についた。

## 「教会おとまり会」に繋げよう

立教174年「こともおぢばがえり」が、7月26日から8月4日までの10日間に亘って賑やかにつとめられました。期間中は昨年の猛暑に比べ普通の暑さという感じで朝夕は以外と涼しくお天気に恵まれました。大教会では、最も早い隊が25日から、各ブロック、教会単位での帰参が次々と続き、詰所は、連日子供達の明るく、元気な声とともに活気のある毎日でした。今年も大きな事故やけがなくありがたいことでした。また、今年も育成掛による朝のおつとめ、ラジオ体操、目標発表、おやすみ行事などがありケジメのある日課となったようです。そして詰所でのお楽しみは、中庭での模擬店です。おやつとしてフライドポテトやかき氷、ポップコーン。ゲームは射的、輪投げ、スーパールールすくいなど盛りだくさんの内容に子供達の目は輝いていました。おなじみのクイズも大好評で、詰所のあちこちで友達どうしで相談した



参加者は大教会長様に帰参報告を

り、中には大人に答えのヒントを聞いたり首をひねったりするなど楽しそうな姿がみられました。ところで、ことしも直轄、福山、高屋、島根の4鼓笛隊が日頃の練習の成果をお供え演奏しました。また、オンパレードでは高屋隊が金賞に、また本隊、福山隊、島根隊が銀賞を戴きました。おめでとうございます。

全教会からの帰参という目標についての結果は、各ブロックからの集計を待たなければ分かりませんが各教会のみなさま、大変ごころうさまで

した。またおちばがえりの喜びを以って熱がさめない内に「教会おとまり会」を実施して頂くよう望むところです。期間中詰所のみなさま、ひのきしんのみなさまお世話になりました。ありがとうございます。

(少年会笠岡団長 中島 誠 治)

### 詰所内行事充実

「この答え何かなあ?」「これ教えて」。詰所内をクイズの解答用紙を持って子供達同士、親子、育成会員と子供達で問題を探しながら聞こえてくる笑い声は、行事開催側を嬉しくさせてくれる。今年も期間中を通して寄せられた解答用紙は269枚に及び、詰所中のクイズは帰参した多くの子供達を賑わせた。さらに一階ホールでの映画上映でも期間中を通して200人を越える子供達が楽しんでくれました。また盛況だった模擬店も多くひのきしんの方々の手によって、無事楽しく進めることができました。皆さん今年も有難うございました。

今年も優秀回答の中から厳選なる抽選によって当選した少年会員の名を紙面を借りて発表いたします。併せてクイズの問題と解答を記載します。また来年詰所でも帰ってきてくれた子供達に喜んで貰えるようアイデアを結集したいと思います。

(こどもおちばがえり実行委員会行事部)



詰所中庭では趣向をこらした模擬店が開かれた

### ▼詰所内クイズと解答

小学校低学年

① 食べると安心するケーキは何?

(ホットケーキ)

② 一度あなに入ると、なかなか出てこない

(でんでんむし)

③ 話すことがとても好きな道具は何?

(シャベル)

④ 歯をみがくことがキレイなやさいは何?

(ジャベル)



待ち時間も笑顔いっぱいの少年会員

- ⑤ けいたいでんわの中に見える魚は何? (たい)
- ⑥ 人間をおしくくんだされたかみさまは何とい  
いますか? (おやがみやま、または、  
とらおのめじやま)
- ⑦ お昼の2時に空に見えるものは何? (じ)
- ⑧ サシはサシでも、もろいといかえこちやう  
サシは何? (あせり)
- ⑨ フコはフコでも、おびんこいんこいんこい  
いんこいんこい? (びんこ)
- ⑩ おやさまのお名前は何? (なかやまみやま)

小学校高学年

- ① いともカモの事をうらんでいるように見え  
る鳥は何? (かも)
- ② 逆立ちすると、いいい人の財布を盗んでし  
まう動物は何? (リス)
- ③ 食べる時、お父さんのことがキライになつて  
しまつフルーツは何? (パイヤ)
- ④ 何でも自分の物だと主張している国といひの  
国? (オランダ)
- ⑤ 点々をしげると、踊り出してしまふ家具は何?  
何? (ダンス)
- ⑥ 笠岡大教会は今年で創立何周年? (120周年)
- ⑦ 「しか」は「しか」でも海にいるしかいんこい  
んしか? (あしか)
- ⑧ 座っているのに、空にあるものは何? (星座)
- ⑨ フランスのパンはフランスパン、では日本の  
パンは何パン? (シヤパン)
- ⑩ ハットのほしほしは「おつこ、ほつこ、ジュン  
かわい...」あひ4は何? (ひんあ、あひだち、あ、いんま)

中学生

- ① 使う前には切るけれど、全然こまかくならな  
いものは何? (フリンプ)
- ② 真っ黒なのに、点々をしげると透明になるも  
のは何? (ガラス)



勝負の時は真剣なまなざしで。。

- ③ 9の色で彩られた食事とは何? (給食)
- ④ 夜に使う台所用品は何? (やかん)
- ⑤ 笠岡大教会創立120周年記念祭は今年の何月何  
日に勤められる? (11月30日)
- ⑥ 柔道や剣道が好きな人が好む果物は何? (ブドウ)
- ⑦ 世界の真ん中に見える虫は何? (蚊せがら)
- ⑧ 朝、嫌なおいがする、東京の名所は何? (浅草)
- ⑨ 通るときには閉まって、通らないときは開  
いているものは何? (踏み切り)
- ⑩ おやさまは病気の原因を「病の元は〇〇〇〇  
から」と教えたのだとしました。そのひら  
かなは〇〇〇〇何? (じん)

▼クイズ当選者(順不同)  
小学校低学年

のろり りよくすけ(5歳、福芦)  
たかい はるき(小1、天場山)  
みやけ りくと(小2、海松ヶ岡)  
江村 あみ(小3、芦田川)  
みつなり ひろと(小3、大恵山)

小学校高学年

武内 文香(小4、高屋)  
稲田 しゅうき(小4、御野)  
佐藤 健治(小4、神村)  
宮本 くるみ(小5、府中市)  
岡本 祐(小6、木津和)

中学生

吉岡 優樹(中1、照陽)  
野口 七華(中2、西伯)  
村川 寛子(中2、大江橋)  
榎原 美咲(中3、多古浦)  
牧裕子(中3、鶴真)

以上15名。  
おめでとうございました。

## 教会おとまり会の報告

▼弓ヶ濱隊

実施日 平成23年4月3日・4日  
参加者数 少年会員3人 育成会員4人 合計7人  
プログラム  
3日(日) 14:00 集合、参拝、撤饌、神殿掃除。  
15:00 外遊び、草取り。  
16:00 夕食作り(餃子)。  
18:30 夕づとめ、まなび(鳴物)。  
19:00 夕食、風呂。  
20:00 レクリエーション。  
21:30 就寝。  
4日(月) 6:30 朝づとめ参拝。  
7:15 朝食。  
8:00 外掃除。  
9:00 解散。  
所感 初めてのおとまり会でした。  
3人とも孫で、小3・年中組・未満児です。  
教会でのおとまりは過去に何度もあったんですが、プログラムを作ったおとまり会は初めてでした。  
すごく喜んでいる様子を見て大変うれしく思いました。



夕勤めお手ふり学びで鳴り物練習



夕勤め参拝後



# 第69回英語講習会開催

海外部主催でありながら、多彩なスタッフそれぞれの持ち分を生かし楽しんでいる講習会、これがこの講習会のイメージです。今年は総勢25名の講習会になりました。英語を使ったゲーム、オリエンタリング、ゲストのレクチャー、映画鑑賞、テーブルマナー、コンテストなど内容の濃いものになりました。今年は海外部北米課勤務で米国ボストンからきたアレハンドロ氏がゲストとして来会した。氏はTEFLで教える経験や、おやさとセミナーのプログラマーをされる経験から、参加者が分かりやすいよう状況を見て教えてくれ参加者から分かりやすいと好評だった。また、今年度は米府分教会から後継者家内で、ケニア出身の三



三代ガシェリ夫人の文化講話

代ガシェリ夫人にもクラスを見て貰った。夫人からケニアの文化や社会の話聞かせて貰う機会を持ち、参加者は興味深くノートをとる者もいた。この講習会の目的は、参加者が英語に少しでも触れて好きになって貰う事、また英語を通して様々な文化に触れていく機会をもち、視野や意識を広げて育って貰うこと、将来海外に目を向けて活躍できる問題意識をもってもらい海外伝道への意識への導きなど。今年もそういった意味では参加者だけでなく、スタッフも目標に近い勉強と経験をできたように思う。来年はいよいよ70回を迎える。節目をどう迎えるか今からスタッフで楽しみにしている。  
(海外部長 上原 志郎)



ゲストによるテーブルマナーの勉強





勉強の後はごちそうが楽しみ

# 談話室



## 模擬店の賑わい

明石市分教会長 杉原博之

7月30日、午後4時45分思いがけず強い夕立が降り出した。みるみる水溜まりが出来るほどだった。夕方6時から帰参の子ども達の楽しみ模擬店

があるというのにさあ、困った……。今日がまた期間中に一番帰参者の多い日。色々な食物の先準備をしなければいけないのでぎりぎり5時15分には止まなくてはいけない。既にチケットは売れている。ポソツと古老がつぶやく。……「奈良に3日の夕立有り」……。ほんとに今日は3日目だ。あつと古老じゃない、少年会団長だ。しかも彼は岡山育ちだ。何で奈良の言い伝えを知っているのかな？ さすがだな。模擬店担当者は、雨の止むのを祈るのみ。子ども達も育成の方々も同じ思いだろう……。祈りが通じたのか、5時10分雨が小止みになり、心なしか陽が差してきて見事雨があがった！ 良かったなあ。大人も子どもも大喜びだ。雨降るのも降らぬのも天然自然のこと。またる種は皆生える、誰か真実の晴天になる種を蒔いたのだろう。決して私ではありません。射的に輪投げ、かき氷、フライドポテト、スーパーボールすくい、ポップコーン。どこもいっぱい盛況だ。行列が出来ている。大人も子どもも大喜びで模擬店は終了した。親神様、教祖有り難うございました。



### 【編集雑記】「味？わない」という言葉

「味わう」という言葉、未然形にしたときに「味わわない」なのか？「味あわない」なのか？ ネット上でも、何かと物議を醸している。

「五段活用だから」わ「が正しい」というような考え方からか、現在、多くの辞書で「味あう」は間違い・誤用とされている。

しかし、口語としての使用頻度を統計すると、どうも圧倒的に「あ派」が多いとのこと。

「同じ音が重複すると言いつらいので、あわ」と言ってしまう」とのご意見もあるが、論拠は定かではない。

時代別に仮名による表記の例を持ち出して「あ・だわ・だ」と論議しているサイトもある。ところで、「箒」という道具があるが、古くは「ははき」だったそう。これが「はふき」になって「ほうき」になったようである。しかし、「箒」と書いて「ほうき」と読むだろうか？ まあ、普通は「ほおき」と読むでしょう。

勝手に結論を出すような問題ではないが、『かさおか』編集掛としては、「誤用」と言われるのも癪なので、「味わわせて」と書いて「あじあわせて」または「あじわわせて」と読むとお考えいただきたい、と思う今日この頃である。

(お)

# 全教会長の参加を！

## 立教174年 全教一斉にをいがけデー

9月28日～30日「よふぼく実動日」  
28日「教会長路傍講演の日」

「全教一斉にをいがけデー」が9月28日(水)から30日(金)まで全国で実施される。これは年に一度、地域に住むお互いが力を合わせ、一手一つに心を揃えて親神様の神名、お道のにをいを広めていこうというもので、普段は個々で布教していても、この時は揃って勢いをもって全教が一斉に行動し、更なる布教活動の実を御守護頂こうとの思いから、期日を定めて実施されるもの。

28日、29日、30日は支部を中心によふぼく、信者が、にをいがけ活動を展開し、28日は「教会長路傍講演の日」として全教会長の参加を目指して実施される。

全教一斉にをいがけデーは、教祖50年祭、立教100年祭に向かう両年祭活動最中の昭和7年に「全国一斉路傍講演デー」として始まり今年で79回目を迎える。

また「教会長路傍講演の日」は5年目。全教会長が自ら街頭に立ち、一回でも多く親神様のお話しを世界の人々にお伝えする日と定め、よふぼく、信者の先頭に立って、にをいがけの実動を推進してもらいたいとの思いが込められている。

更に9月を「にをいがけ強調月」と定め、この月はそれぞれの教会につながるよふぼく、信者はもとより、平日は仕事や学校でにをいがけに出られない働くよふぼくや学生にも仕事、学校帰りに、にをいがけ活動に参加してもらえる様、細やかな丹精が必要となる。

笠岡大教会では、来る11月30日、創立120周年記念祭がつとめられる。「一日一件にをいがけ」の活動スローガンの実践に向けて全教会長の参加が望まれる。

全教一斉にをいがけ事務局(本部布教部にをいがけ課内)では9月28日、29日、30日は記念祭、奉告祭、年祭などの教会行事の自粛、特に本年は東日本大震災の復興活動の中での「にをいがけデー」のため、被災された方々にも思いを致しながら、真剣に取り組ませて頂こうと呼びかけている。

(この記事の一部は同事務局発行「担当者用実施要項」の中から許可を受けて使用しています)

### <実行委員会>

#### ○創立120周年記念祭について

- ・参拝者目標 3,000人
- ・各係員案作成(決定後『かさおか』誌にて発表)
- ・今後の予定
  - 8月20日 第1回参拝予定者報告・各係主任打ち合わせ
  - 9月21日 係員打ち合わせ
  - 10月20日 第2回参拝予定者報告
  - 10月29日 参拝券配布
  - 11月20日 最終参拝者数報告、最終打ち合わせ

## 七月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一慎んで申し上げます

親神様の「人間が陽気ぐらしをするのを見て楽しみたい」との親心溢れる御守護と「世界一列救きたい」との親心一杯のお導きを頂いて 日々は結構に恙なくお連れ通り下さいます事は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共は先輩先生や親より親神様の思召や御守護の程をお聞かせ頂き生かされている喜びを味わわせて頂くと共に 御恩報じの大切さに気付かせて頂きました 以来 朝夕に御礼申し上げつつ御恩報じを思い念じて思召に応えさせて頂けるよう たすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

その中でも今日の吉日は七月の月次祭を執り行う有難い日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同喜び心も一入に明るく陽気に勇んで坐りつとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には台風一過の安堵感を心に今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が相共にお歌を唱和し 日頃の御高恩に言改めて御礼申し上げます 眞実の状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて先月二十五・二十六日と別席ひのきしん団参をさせて頂きましたところ 一一三〇名の帰参の御守護を頂戴しました 加えて雨の予報から一転し 晴天の御守護を頂戴し 暑い中ではありましたが皆喜び心一杯にひのきしんに汗を流させて頂くことが出来ました 誠に有難うございました 引き続き 目前に迫った夏の子供おぢばがえりに向け 一人でも多くの子供達に帰参して頂けるよう募集の上余念はありません 震災の被災地となった福島からも六名が帰参の予定でございます 全隊帰参を目指し心一つに揃えて力を出し切る皆の眞実心をお受け取り下さいまして 事故怪我等のないようお連れ通りの程をお願い申し上げます

又学生生徒修養会 英語講習会 野外キャンプと夏休みに開催される行事等を利用して子供達の育成に力を注いでまいります 一人でも多くの子供達が道の後継者として育ってくれる事を願っております

何卒親神様には 猛暑日の続く中にも御恩報じ一筋にたすけ一条に邁進する皆の誠眞実の心をお受け取り下さいます 願う心の誠の理に自由の御守護を賜り 御教えが一人また一人と確実に伸び広がりまして お望み下さる陽気づくめの世の状に一日も早くお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

### <青年会>

#### ○全分会布教推進週間

期 間 8月28日(日)～9月4日(日)

活動計画書 8月21日までに提出下さい

#### ○毎月ひのきしん

7月17日 実施 25人参加

ピロティーの椅子の塗り替え

神殿正面石段けずり 除草など

# ・原・稿・募・集・

**内 容**

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介 ③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

**字 数**

1000字前後(800字~1200字) 題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。俳句等は一句からでも結構です。

**寄 稿 先**

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。



郵 便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

F A X：0865-66-1314

メール：**tenkasa@yahoo.co.jp**

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。

## 大教会だより

### ◎任命 教会指令◎

出 雲 分教会

＊前任 高島定彦  
＊新任 鳥谷秀夫



鳥谷秀夫氏

☆奉告祭 立教174年8月10日

### ◎本部食堂ひのきしん

自 立教174年7月16日  
至 立教174年7月31日  
稲 讚 高橋竜二

立教174年7月26日承認



この度、教会に生活をする様になり、今までは、通いで行っていたか

## こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌八月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「歩」、笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載されていきましたので転載させて頂きます。おめでとうございます。

秀 詠 東悠分教会前会長夫人 田林美智子さん  
久に訪う神の縁や歩の早む

### ▼表紙の書

天場山分教会 役員 野津正樹さん

ら気がつかなかった事が見えてくる様になりました。つながる信者さんの声が直接聞こえてくるのと、今まで出来なかった、にをいがけに出るようになり、ある人は昔、親や親戚達が教会に行っていた事があると話をされ、今はなかなか行かれないし身内の方が良い顔しないからと言われていたり、教会の周りは、他宗教の人達も多いですが、僕達家族は一人でも多くの人達にお道の教えやそれによって助かってもらえればという思いで声掛けをしています。けれど、なかなか思うように伝える事が出来なかったり、聞いて頂けない時もあります。色んな話を聞かせてもらって、学習させられる事も多く、色々な思いに気付かせてもらえる事が多くなりました。それと、小さい子供がいるという事もあって、信者さんも、周りの人達も明るく、声を掛けて下さったり、心配りをして頂ける様になりました。まだまだ、至らない僕達家族ですが、色々な事を助け合って通りたいと思います。

(う)